

きょうの紙面



「人間らしい感情」 失った日々を回顧

13歳の時、長崎で被爆した西岡洋さん(93)が横浜市内で講演。爆心地近くで目にした惨状や戦争によって「人間らしい感情」を失った日々を回顧した。

平和祈るバラ200株 14



2
17
8
7
備蓄米の残りは10万ト
成年後見、終身制撤廃へ
日野・三菱ふそう来年統合
「公立の雄」両監督が対談

総合 2・3 読者 13
スポーツ 4・5・7 地域 14~16
経済・商況 8~10 社会 17~19
TV解説・小説 12

論説・特報

▶ 11

小説「Blue」、差別に抗する物語



問う
川野芽生さんの小説「Blue」の主人公はトランスジェンダー女性。「差別に抗する物語」として紡がれた。

8・3 横浜市長選

10日午前11時過ぎ。市役所6階の自民市議団控室で、所属議員全32人による会議が非公開で始まった。複数の出席者によると、山中竹春市長(52)の評価などを巡り、ベテランから若手

任期満了に伴う横浜市長選(7月20日告示、8月3日投開票)最大会派の自民党が対応を決めきれずにいる。再選出馬を表明するか否かで意見が対立し、着地点を見いだせない状況だ。保た前回選の「悪夢」を教訓に一枚岩になるべく議論を重ねてきている。

自民市連、混迷

現職支持か、自主抗

勝俣町長は本会議冒頭のあいさつで「町の目指すまちづくりにとって必要かつ効果的な財源は宿泊税とし、制度設計の検討を進めていきたい」と意気込みを述べてた。

28年目標、県内2例目

箱根町の勝俣浩行町長は10日に開かれた町議会6月定例会本会議で、2028年4月を目標に宿泊税導入について検討することを表明した。県内での宿泊税導入への本格的な取り組みとしては湯河原町に次いで2例目となる。

(松浪 空矢)

町長「効果

箱根町も宿

神奈川新聞

THE KANAGAWA

2025年[令和7年]

6月11日[水]

友引 | 入梅

©神奈川新聞社 29716号

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23

総合受付 045-227-1111[1ヵ月3500円・1部140円]

生前対策から相続税申告まで相続の専門家集団としてサポートします。

全15拠点(駅近)で 安心の無料相談!!

相談210,000件以上! 相続税申告9,500件超!



ランドマーク税理士法人グループ

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-48-7271

きょうの天気

☐ のち ☐ 一時・時々



横浜市長選後、市連大会の対応について取材に応じる会長の佐藤茂市議(中央)

13日夜、横浜市中区

約2市議の市議のいた。なかつた。市長余り構図が定まり、手に制としてできず、を帯び、立憲